

【資料7】

平成28年度 大阪府「教育コミュニティづくり」実践交流会実施要項  
 (教育コミュニティづくり推進事業研修会・成果報告会、兼アウトリーチ型家庭教育支援研究報告会)

- 1 趣 旨：地域の実情に応じた子どもをはぐくむ活動の充実、発展を図る
  - (1) 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動をすすめている地域の実践事例から学ぶ
  - (2) 学校・家庭・地域の絆をはぐくむ主体的な教育支援活動を考える
  - (3) アウトリーチ研究報告により、成果を府域全体へ発信する
- 2 主 催：大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、堺市教育委員会
- 3 開催日時：平成29年2月25日(土) 13:00~16:45 (受付 12:20~)
 

\*実演・展示ブースは、受付から開始までの40分間及び休憩の20分間
- 4 開催場所：大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター) ホール  
 〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目3番49号 電話 06-6910-8500
- 5 参加対象：○教育コミュニティづくりの取組みに関わっている地域の方、学校関係者、行政担当者  
 ○教育コミュニティづくりの取組みに関心のある方 (定員 350名)

\* 教育コミュニティづくりの取組み \*

- ・学校支援地域本部 ・おおさか元気広場(放課後子ども教室) ・家庭教育支援 ・すこやかネット
- ・「学校元気アップ地域本部」・「小学校区教育協議会-はぐくみネット-」・家庭教育支援(大阪市)
- ・「堺版コミュニティ・スクール」(堺市) 等

- 6 内容：
  - 開会 (あいさつ・趣旨説明)
  - 講演
    - 講師 水野 達朗 氏 (家庭教育支援センターペアレンツキャンプ代表理事)
  - 訪問型家庭教育支援に関する成果報告
    - ・大東市、交野市、阪南市
    - ・コーディネーター 山本 智也 氏 (大阪成蹊大学 教授)
  - 休憩 (ブース交流)
  - 学校支援活動・放課後子ども教室に関する実践報告及びリレートーク
    - ・高槻市立北清水小学校放課後子ども教室
    - ・大阪市立加賀屋小学校区はぐくみネット
    - ・堺市立浜寺小学校学校協議会
    - ・河内長野市立美加の台中学校区学校支援地域本部「ゆめ☆まなびネット」
    - ・大阪府立富田林支援学校
    - コーディネーター 山本 智也 氏 (大阪成蹊大学 教授)
  - 閉会

(12:20) (13:00) (13:05) (13:55) (14:55) (15:15) (16:45)

受付 (実演展示ブース見学)	開会	講演  講師 水野 達朗 氏	アウトリーチ 研究報告会  ・大東市 ・交野市 ・阪南市	休憩 (実演展示ブース見学)	実践報告 ・高槻市 ・大阪市 ・堺市 ・河内長野市 ・府立支援学校	閉会
-------------------	----	-------------------------	---	-------------------	--	----

## 平成28年度アウトリーチ型家庭教育支援研究報告会

- ◆ 日 時 平成29年2月25日（土曜日）13:15～16:40
- ◆ 場 所 大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）7階ホール
- ◆ 参加者 243名（家庭教育支援員、地域コーディネーター、行政担当者等）
- ◆ 概 要

文部科学省委託事業「大阪府アウトリーチ型家庭教育支援モデル事業」の研究報告会として、訪問型家庭教育支援に関する基調講演と委託市による実践報告を行いました。はじめに、水野達朗氏（（一社）家庭教育支援センターペアレンツキャンプ代表理事）より「訪問型家庭教育支援の在り方」をテーマにご講演いただきました。次に、本事業の委託5市（泉大津市・寝屋川市・大東市・交野市・阪南市）のうち、今年度より新たに訪問型家庭教育支援に取り組んでいる大東市・交野市・阪南市、及び大阪府教育庁より訪問型家庭教育支援事業の実践報告を行いました。また、本事業の推進協議会で座長を務める山本智也教授（大阪成蹊大学）に、本事業についての評価や助言をはじめ、推進協議会での協議内容等についてご報告いただきました。

### ◆内容

- ①基調講演 テーマ「訪問型家庭教育支援の在り方～学校、家庭、地域をつなげる～」  
講 師 水野 達朗 氏（一般社団法人 家庭教育支援センターペアレンツキャンプ代表理事）

支援者としての経験やペアレンツキャンプでの家庭教育支援の特徴・方法のお話をはじめ、学校・家庭・地域の相互的な連携の力の変化に伴って、家庭教育をサポートすることの重要性や必要性についてお話いただきました。また、訪問型家庭教育支援が求められる背景から、実際に全国で取り組まれている取組みの特徴などについてもご紹介いただきました。



### ②実践報告（大東市）

大東市では、市内全12小学校の小学1年生の家庭へSSWや青少年指導員等で構成される家庭教育支援チーム員による家庭訪問を行っています。また、保護者の集いの場となる「いくカフェ」を開催しており、訪問の際には「いくカフェ」の案内もしたりと相談・支援の機会についてご報告いただきました。

### ③実践報告（交野市）

交野市では、家庭教育支援員が学校や教育委員会と連携を図りながら長期欠席や不登校児童生徒の支援に加えて、保護者（家庭）への継続した支援を行っています。支援員の相談体制により、保護者の心への支援や、家庭環境を改善するために福祉部局との連携により福祉サービス等の紹介を行っている事例や方法についてお話いただきました。



### ④実践報告（阪南市）

阪南市では、市の適応指導教室に家庭教育支援員を配置しており、不登校児童生徒の保護者への相談支援を行っています。訪問による支援だけでなく、電話や手紙による関わりももつなど、保護者の不安や孤独に寄り添い、保護者のエンパワメントを通じて子どもの通室や投稿につながる支援について事例を踏まえながらご報告いただきました。

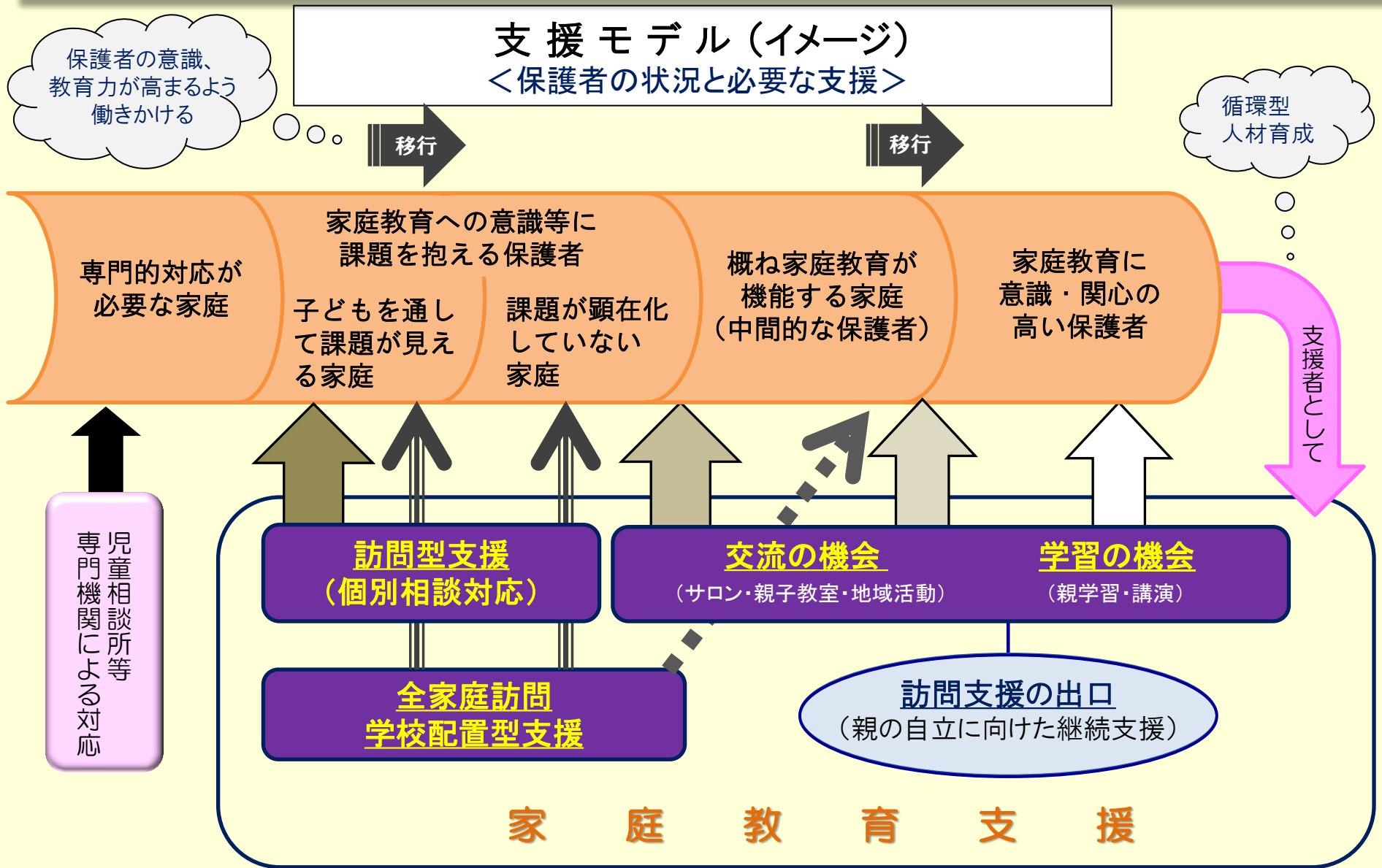
## 家庭(保護者・子ども)の項目別状況(試案)

区分		1	2	3	4	5
保護者	A 支援員との関係	訪問しても会うことができない	会える時と会えない時がある 時により態度が変わる あいさつがない ほとんど表情に変化が見えない	会うことはできる 2〜3ほどの簡単な対話をしている 支援員の働きかけであいさつする 対話の内容によっては、笑顔が見られる	子どもの様子・子育てについて話(雑談)している 保護者から先にあいさつする 会話中、笑顔がよく見られる	積極的に会話している 不安や悩みを自分から話している 明るく挨拶をかわしている 支援員を気遣いながら、表情豊かに会話している
	B 子どもへの対応 子育てに対する意欲	「子(養育)を拒否している」「暴力をふるう」など、虐待事象が見られる 子どもの安全確認がとれない	子育てに対しての前向きな言葉が出ない 子育ての課題(子どもの課題)を認識していない 子どもへの対応が感情的(自分本位)で子どもは受け入れていない 養育(衣食)に携わらない(放棄)ことがある	子育てに対する意識はあるが、不安な(自信のない)言動が多い 子どもの課題に正対していない(逃げようとしている) 子どもとのルール(約束)はあるが、一貫した姿勢(しつけ)になっていない 子どもの行動(生活)を放置することがある	子育てに対して前向きな(責任感を感じる)言動が多い 不安感をだす時もあるが、他者との会話(交流)で改善している 子どもにルール(約束)を守らせようとして 学校での状況等子どもの言動、態度に注意を払っている	子育てについて、様々な機会を捉え積極的に学んでいる 子ども理解に努めている 自己認識ができている 子どもの主体性を尊重し、成長の後押しをしている 状況に応じて、適切に「しかる」「ほめる」「認める」ことをしている
	C 他者(地域)とのかかわり	他者とのかかわりが全くない	地域での活動にほとんど参加せず、孤立している(声をかけても返事が無い) あいさつをかわさない 支援員等、働きかけする特定の人と関わることがある	必要に迫られる範囲で、地域との関わりをもっている(他者との交流は避ける傾向にある) 地域や学校関係など特定の人と対話している	適度に地域付き合いしている 周りの人にどう思われているかが気になる 友人や気の合う人と、気軽に会話している	地域行事に積極的に参加している 人の交流を通して、自分の長所を伸ばしている 近所の人や保護者同士で、会話する機会が多い
	D 学校との関係	学校から連絡がとれない	学校からの連絡には応じるが、個人懇談等に参加しない(来校しない) 子どもの学校での様子に関心がない(関わろうとしない)	学校の要請に応じて懇談等には参加するが、行事等への自主的な参加はない 欠席連絡を入れない時がある(無断で休ませることがある)	授業参観や運動会等、無理のない範囲で学校行事に参加している 学校に一定の信頼を寄せているが、学校を批判的に捉えることがある	保護者研修会やPTA行事等の交流の場に参加する 学校の状況を客観的に捉え、保護者としての関わり方を考えている
	E 室内の状況	室内の状況はつかめない 屋外に物が散乱している	物(洗濯物、ゴミ等)が散らかっている状態が続いている	清掃し、きれいな時もあれば、物が散らかっている状況の時もある	人を迎え入れる状態(不快感のない状態)に清掃している	整理整頓が行き届き、清潔感のある状態にしている
子ども	F 支援員との関係	訪問しても会うことができない	日により態度が変わり、話できる時とできない時がある 対話中、表情に変化が見えない	子ども自身の興味があることについてなら話ができる 対話の内容によっては、笑顔が見られる	不安なことや悩み、不満に思うこと、学校についてなど、支援員の方から聞いたら話してくる 会話中、笑顔がよく見られる	子どもの方から、不安なことや悩み、不満に思うこと、学校についてなど相談している 表情豊かに会話している
	G 保護者との関係	保護者との関係について状況がつかめない	保護者への言動が攻撃的 無視している 全く会話がしない	保護者への言動、態度が反動的 必要最小限度の会話しかない(聞かれたことには答える)	普段は保護者の言うことをきいているが、素直になれず従えないこともある 学校や友人のことについて話している	保護者の状況を理解し、思いやる言葉、行動がある 悩みや不安なことを相談している
	H 学校等での様子	暴力、授業妨害等、他者に重大な影響を及ぼす課題がある 深夜徘徊する等、家庭に生活の基盤がない	問題行動、不登校等の課題がある。 学校の指導に従う場面と従わない場面がある。 食事、睡眠等の基本的な生活リズムがとれていない 一人にしていることが多い	学校の教育活動に参加するが、登校しづり、遅刻、問題行動等の課題が見られることがある 就寝時間が遅くなるなど不規則な生活になる時がある。 特定の友人(大人)と関わっている	落ち着いた学校生活を送っているが、不安定になることがある 好きな地域行事に参加している 規則正しく生活し、基本的な生活習慣が定着している 校内外で、友人と楽しく過ごしている 友人関係で一人で悩むことがある	積極的に、学級活動やクラブ活動に取り組んでいる 主体的に地域行事に参加している 自立(自律)し、主体的に生活習慣を築いている 友人や先生に、不安なことや悩み、不満に思うことを相談している

地域ボランティア  
コーディネーター  
家庭教育支援員

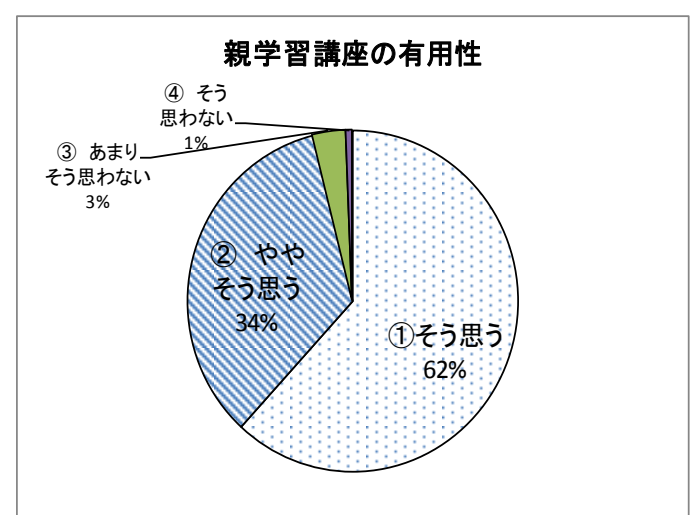
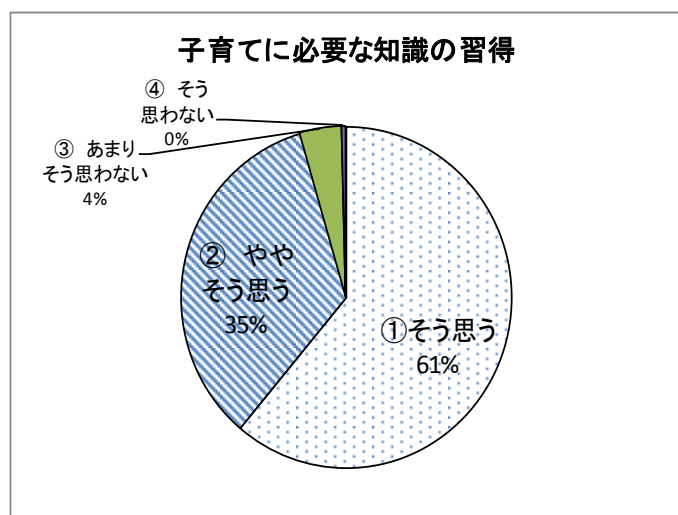
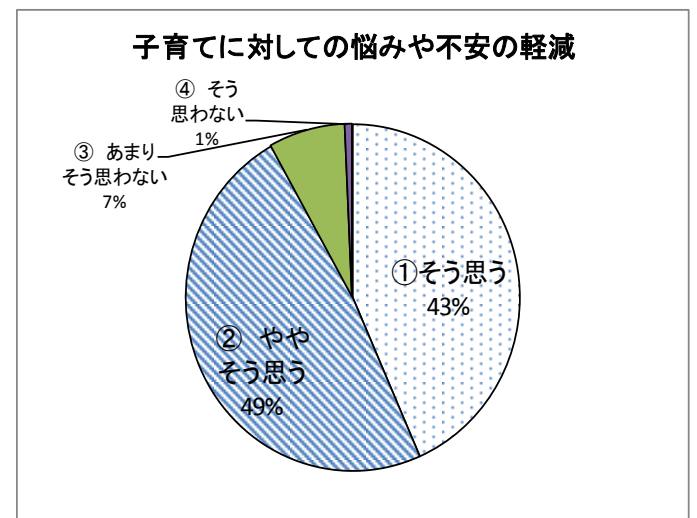
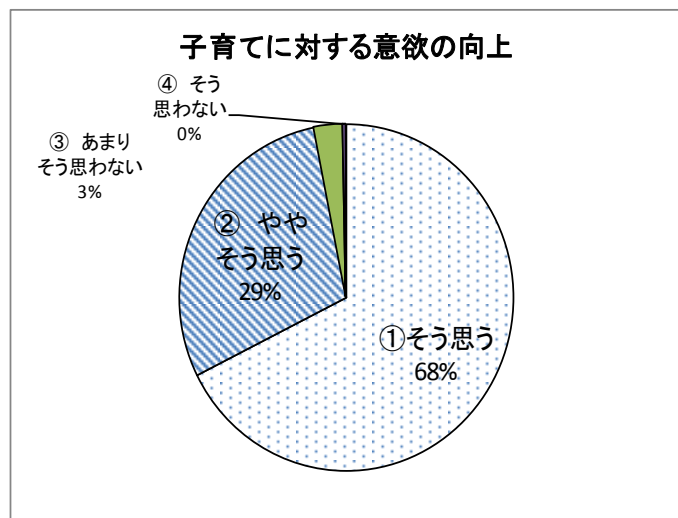
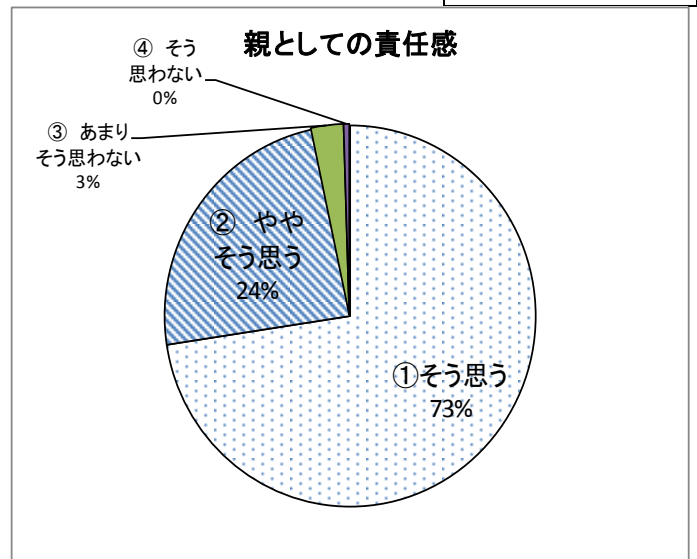
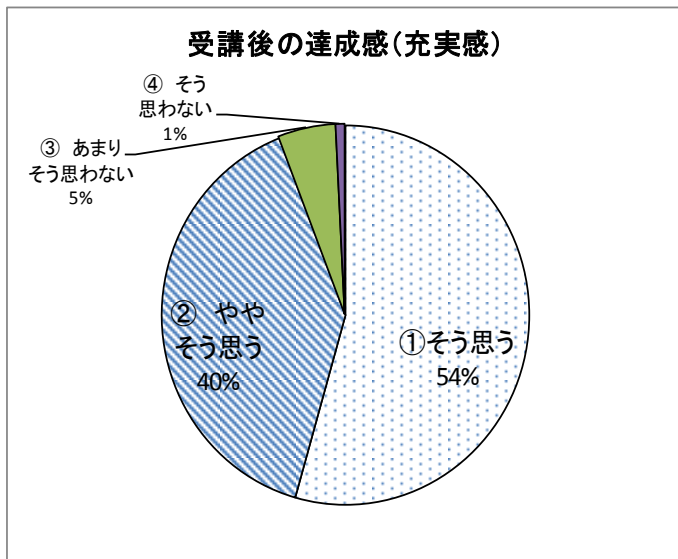
子育て等の家庭の状況	孤立化し課題が重篤で、関係機関につなぐ必要がある家庭	不安定な状態が継続し、子どもから問題が表出し、支援が必要な家庭	明らかな課題は表面化していないが、不安感、困難を抱え、支援が有効な家庭	不安はあるが、他者の意見を聞き入れることができる、交流の場や「親学習」への参加が効果的な家庭	意識関心が高く、自分から相談でき、ものごとに前向きな家庭	地域へも積極的に参加し、支援者として期待したい家庭(保護者)
区分	1	2	3	4	5	

# 保護者の状況に応じた家庭教育支援の取組

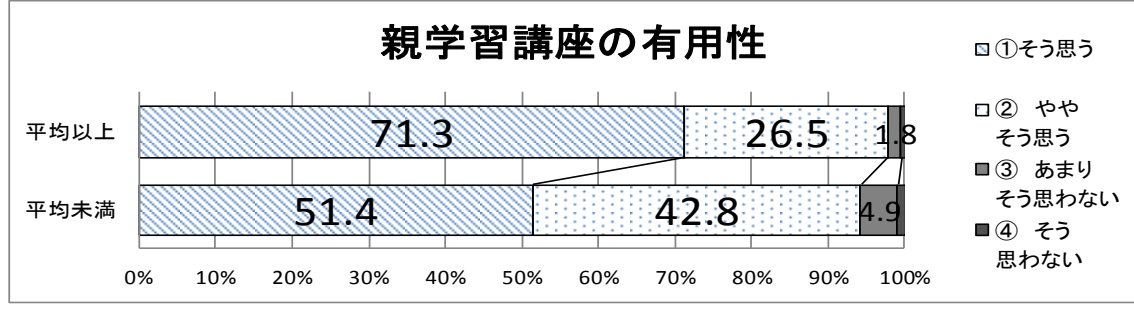
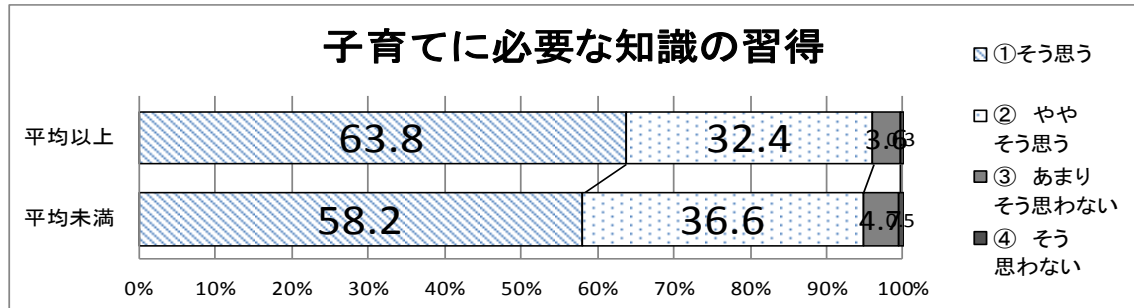
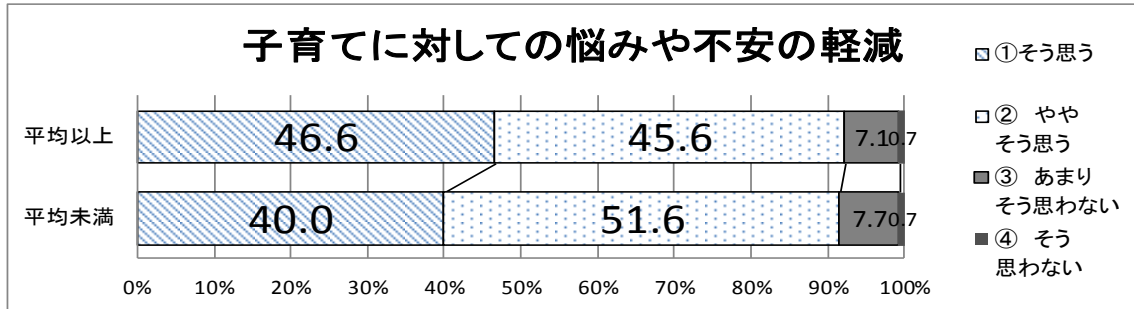
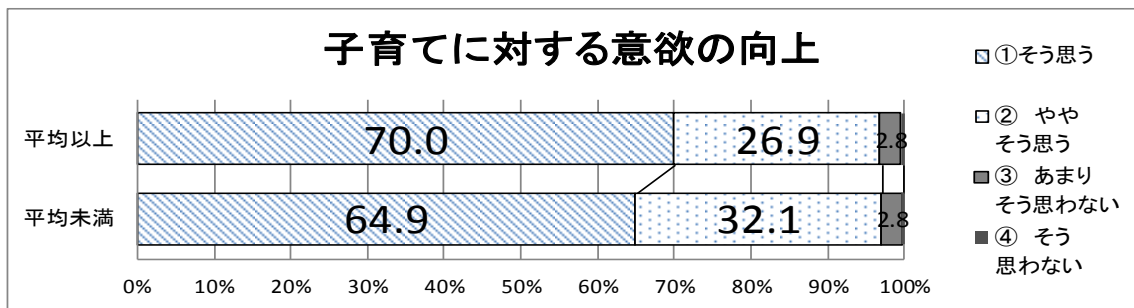
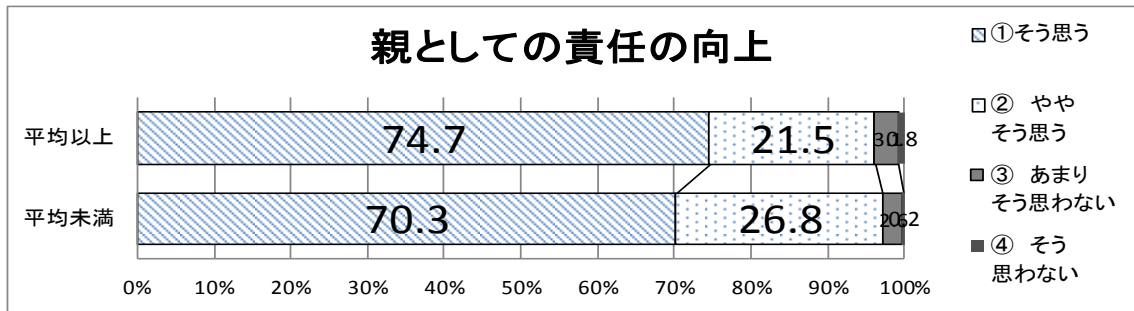
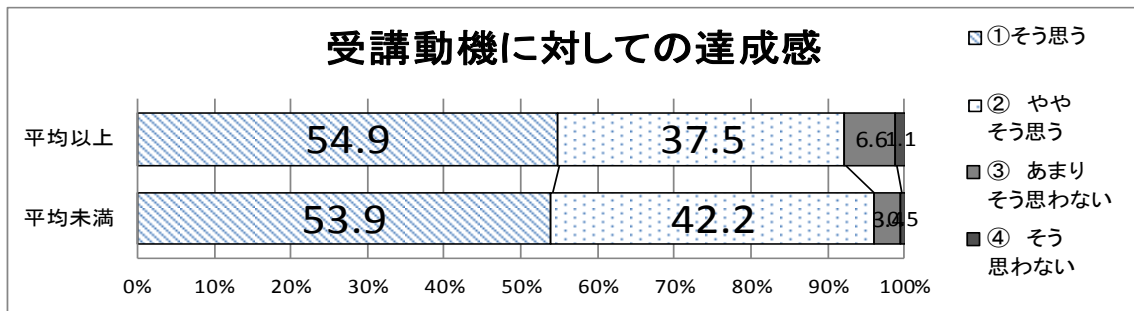


# 親学習実施後 意識調査

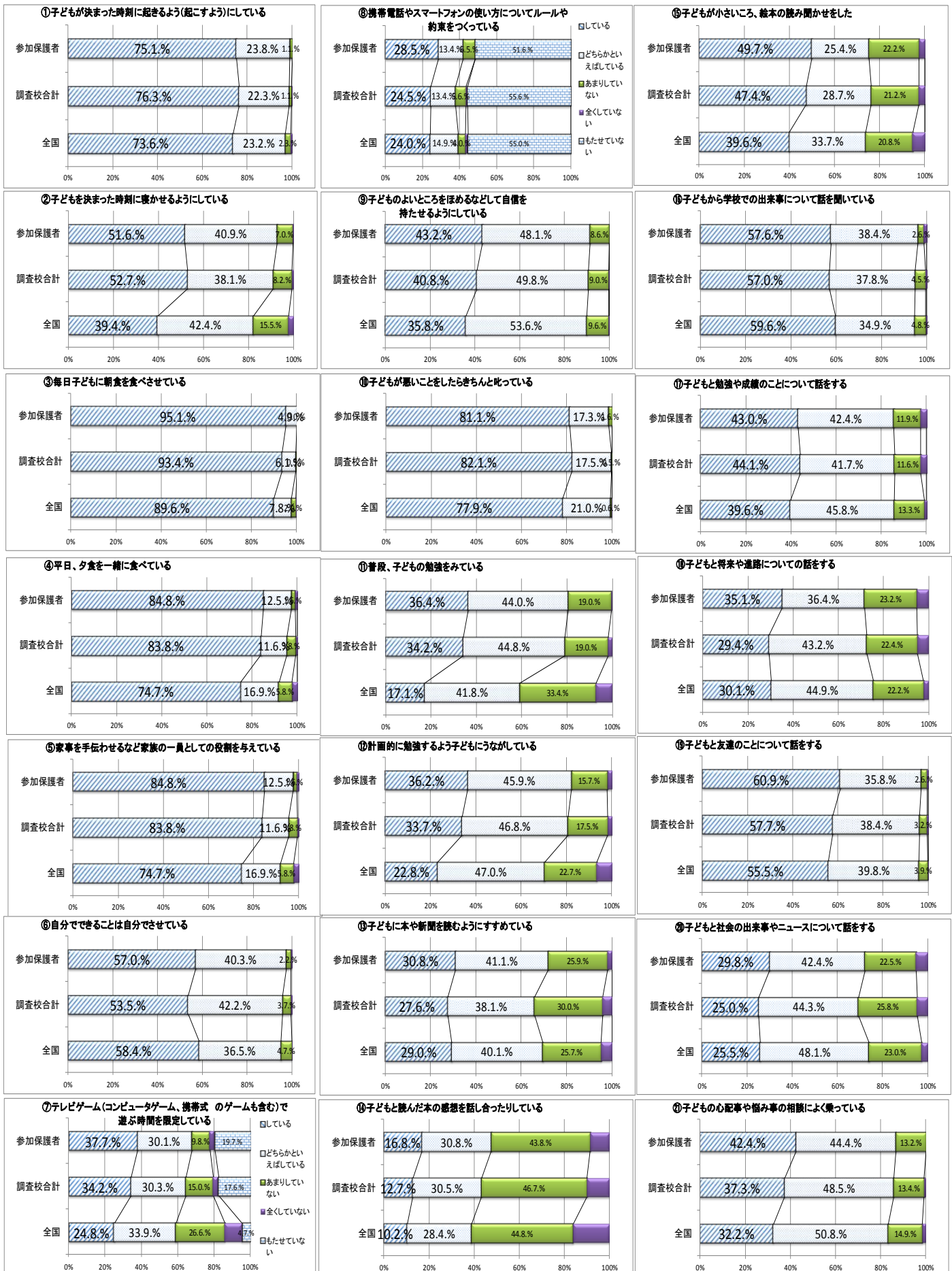
回答数3177



親学習実施回数 平均以上と平均以下の市町村比較



■あてはまる □どちらかといえばあてはまる ■どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない



あてはまる
  どちらかといえばあてはまる
  どちらかといえばあてはまらない
  あてはまらない





## 【資料13】

○「親学習」参加後、家庭生活や子どもとの関係で、活かしていること、変わったこと、大事にしていることなどについて  
(複数回答可)

- ・子どもの気持ちになって考えることや、子どもの親へのSOS、変化などに気づけるよう、普段から子どもとのふれあいや会話を心がけるようになりました。
- ・子どもの意思・希望を第一に、失敗をたくさんさせて学ばせようとしています。講座に参観して、今までやっていたことは間違いではないと確信できたので、子どもとぶつかりながらも成長を見守っています。 等

**【子どものことを尊重、気持ちに寄り添うようになった(28.1%)】**

- ・親自身の感情をうまくコントロールし、子どもや家族、毎日の生活を大切に送れるよう心がけています。
- ・ゲームをするときも、スマホをこれから与えるときも、親子で決めたルールを大切にしています。ルールを守らせるためには、親の思いを一方向的に押し付けるのではなく、話し合っ

**【学んだ子育ての方法(スキル、接し方)を活かしている(23.6%)】**

- ・注意ばかりではなく、ほめることをいっぱいしています。ほめる時は、具体的なことをあげています。
- ・ほめられると誰でもうれしいので、子どもをほめて育てています。自分が言われてうれしい言葉を、どんどん子どもにも発しています。 等

**【ほめることが増えた(19.1%)】**

- ・なるべく子どもと2人の時間をつくったり、今日の出来事を家族で話したり、叱る時は目を見て真剣に言い聞かせるようにすることを大事にしています。
- ・子どもに、「親に求める条件」(どんな親であってほしいか)を聞いてみたことで、子どもの言葉を意識して話したり、一緒に遊んだりして過ごしています。 等

**【子どもとの会話が増えた(19.1%)】**

- ・他の親も同じように悩んだりしているのを聞いて、少し気持ちが楽になりました。参加後、なんだかより一層子どもがかわいく見えました。自分が良いことだと思ったことがほかの人にも理解してもらえ、子育てに自信が持てました。
- ・悩みは、私一人のものではなく、他の多くの方々も、子育てで悩みながらも取り組まれていることに、勇気づけられました。 等

**【前向きに、自信をもって子育てにあたる 余裕ができた(14.6%)】**

- ・母はみんな頑張っている分、孤独になりやすいので、親学習で一緒になった人と、その後も、できるだけ話しています。 等

**【相談相手があった(2.2%)】**

# 大阪府「アウトリーチ型家庭教育支援モデル事業」実施体制

## 泉大津市

★訪問支援（課題対応型）  
 ・教育支援センターを拠点に、カウンセリングスキルを有するサポーターによる訪問支援活動  
 <サポーター：7名>  
 ＊支援家庭：17家庭  
 ＊家庭訪問：301回

☆親学習・交流の場  
 ・訪問支援の出口（親の自立に向けた継続した支援）として、月1回「親の会」（交流の場）と親学習講座を実施

## 寝屋川市

★訪問支援（学校配置型）  
 ・サポーターを拠点小学校に配置し、保護者、児童への個別支援を実施  
 <サポーター：15名>  
 ＊家庭訪問：191回  
 ＊学校での面談：128回  
 ＊電話相談：405回

☆親学習・交流の場  
 ・訪問時に、訪問支援の出口として、家庭教育学級（わいわい楽しく子育て広場）での親の学びの機会等の案内と誘いかけ

## 大東市

★訪問支援（全戸訪問型）  
 ・市内12小学校区を単位にSSWを中心とした相談・訪問チームを編成し、小学校1年生家庭全戸訪問の実施  
 <SSW：4名>  
 <訪問相談員：39名>  
 ＊家庭訪問：953家庭

☆親学習・交流の場  
 ・訪問相談員が、訪問時に、「いくカフェ」、「親学習」等の情報提供と誘いかけ

## 交野市

★訪問支援（課題対応型）  
 ・子育てが困難な状況だが、福祉関係機関等の支援を受けていない家庭（支援の狭間の家庭）を抽出し、重点的に訪問支援を行う。  
 <訪問支援員：2名>  
 ＊家庭訪問：73回

☆親学習・交流の場  
 ・交野市子ども家庭サポーターの会と家庭教育支援チームが連携し、親の学びの機会の企画調整と情報提供を協働実施

## 阪南市

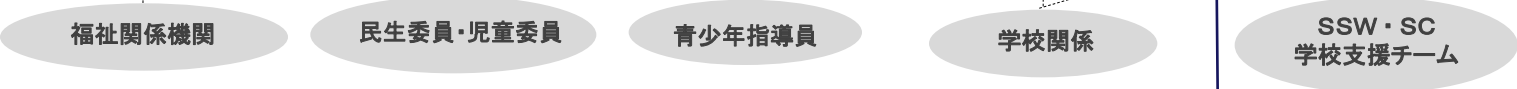
★訪問支援（課題対応型）  
 ・市の適応指導教室に家庭教育支援チームを置き、不登校児童家庭へ訪問支援を実施  
 <訪問支援員：3名>  
 ＊家庭訪問：33回  
 ＊電話相談：約500回

☆親学習・交流の場  
 ・重点校において、家庭（親）の教育力向上に向けた取組み（親学習等）を実施

学校（小学校生徒指導支援チーム配置校等）での、家庭（親）の教育力向上の取組み（親学習等）、効果検証に係る研究への連携・協力



**推進協議会**  
 <事業方針の決定、取組みの検証・評価、委託市関係機関等との連絡調整>

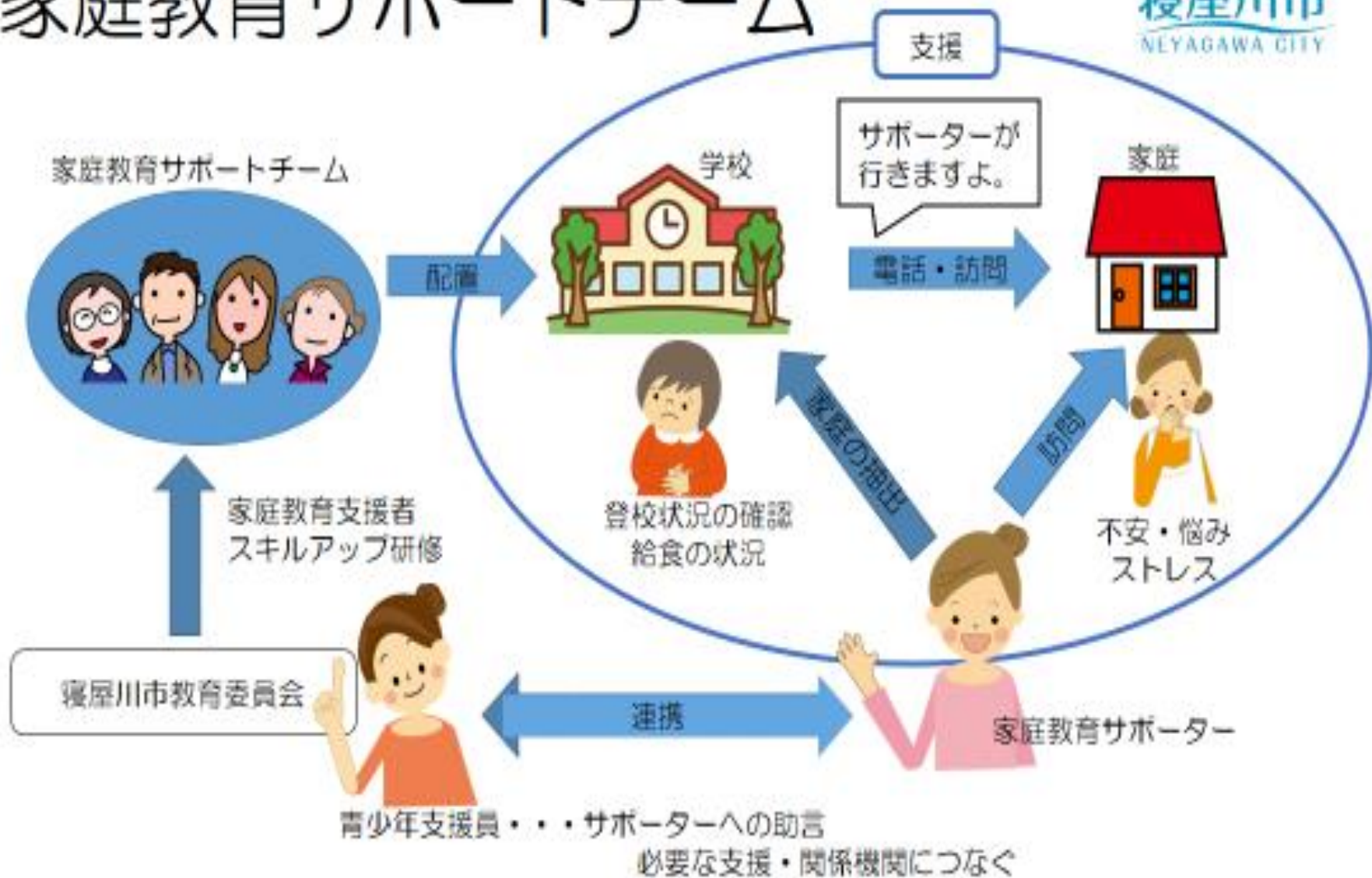


効果検証研究への指導助言

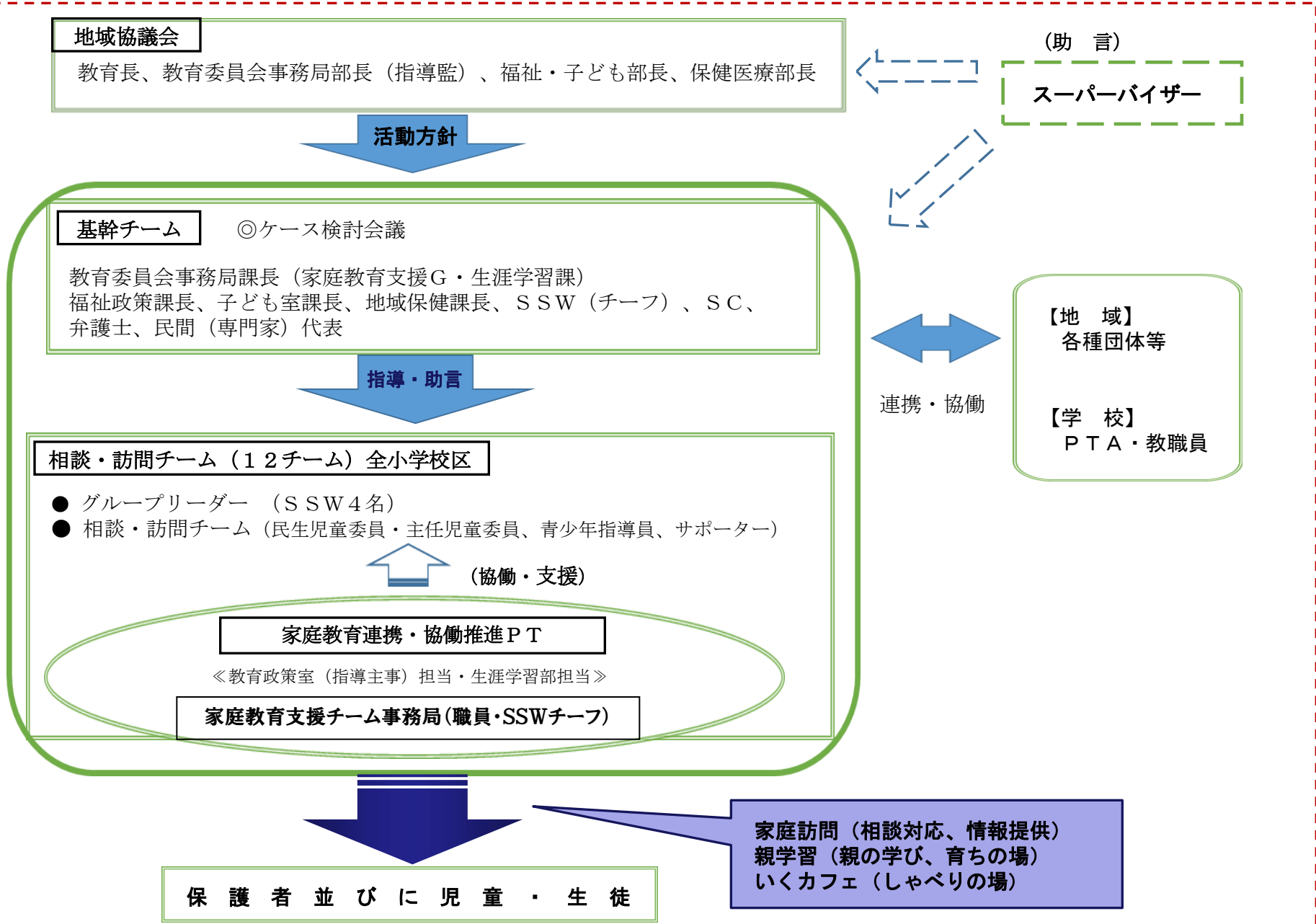
\* 推進協議会事務局 \* 訪問支援員の養成 \* 取組み成果の集約、モデル化 \* 成果普及と取組促進（研究交流会等） \* 効果検証の研究



# 家庭教育サポートチーム



# ● 大東市 家庭教育支援チームのイメージ図 ●



**地域協議会**  
教育長、教育委員会事務局部長（指導監）、福祉・子ども部長、保健医療部長

活動方針

**基幹チーム** ◎ケース検討会議  
教育委員会事務局課長（家庭教育支援G・生涯学習課）  
福祉政策課長、子ども室課長、地域保健課長、SSW（チーフ）、SC、  
弁護士、民間（専門家）代表

指導・助言

**相談・訪問チーム（12チーム）全小学校区**  
● グループリーダー（SSW 4名）  
● 相談・訪問チーム（民生児童委員・主任児童委員、青少年指導員、サポーター）  
協働・支援

家庭教育連携・協働推進PT

《教育政策室（指導主事）担当・生涯学習部担当》

家庭教育支援チーム事務局（職員・SSWチーフ）

保護者並びに児童・生徒

家庭訪問（相談対応、情報提供）  
親学習（親の学び、育ちの場）  
いくカフェ（しゃべりの場）

（助言）  
スーパーバイザー

【地域】  
各種団体等  
  
【学校】  
PTA・教職員

連携・協働



# 阪南市 適応指導教室における訪問型家庭教育支援の実施体制

